

抄録様式

財団法人 8020 推進財団 平成 22 年度歯科保健活動助成事業報告書抄録	
1. 事業名	: 日本歯科医師会「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」を用いた歯科診療室における保健指導の普及定着事業
2. 申請者名	: 社) 埼玉県歯科医師会 島田 篤 担当者氏名 深井穂博
3. 実施組織	: 社) 埼玉県歯科医師会地域保健部
4. 事業の概要:	<p>本事業は、日本歯科医師会「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」を用いて、歯科診療所における保健指導を実施し、その効果を検証することが目的である。対象は、県内 19 郡市歯科医師会から選ばれた 26 ヶ所の歯科診療所および本事業の主旨に賛同した患者（地域住民）20 代から 60 代の男女 289 名であり、日常診療のなかで本プログラムを用いた保健指導を実施し、3 ヶ月間のフォローアップを行った。評価項目は、保健行動および口腔内状態の改善度、保健行動目標の達成度、および本プログラムを用いた保健指導に対する受診者・専門職双方の満足度評価である。併せて本事業を、今後の県内歯科医療機関の受け皿整備に関わるリーダー養成事業と位置づけた。</p>
5. 事業の内容:	<p>(1) 事業協力歯科医院の歯科医師を対象に、事前説明会および研修会を開催した。 (2) 診療室で行っている日常診療のなかで、日歯版質問紙票を用い、口腔保健に関するアセスメント、自己目標設定型・気づき支援型歯科保健指導を実施した。 (3) 第 1 回目の保健指導から概ね 3 ヶ月間にわたり、保健指導を実施し、第 3 回目の保健指導時（評価時）には、対象患者および保健指導担当者にアンケートを行った。 (4) 保健指導の効果に関するデータを集計・解析し、事業評価を行った。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）:	<p>(1) 日歯版成人歯科健診プログラムは、歯科診療所単独で行って、患者（地域住民）のニーズにあっていることが満足度調査から確認された。 (2) 受診者の口腔保健行動（口腔清掃行動および摂食行動）に明らかな改善が認められ、保健行動目標は約 80%の達成率であった。また口腔内状態では、BI（出血指数）および口腔清掃状態に改善がみられた。プログラムに対する満足度は、受診者・専門職いずれも良好であった。 (3) 保健指導を実施する歯科診療所においては、保健指導担当者の患者コミュニケーションスキル向上と保健指導方法の体系化がさらに必要であると考えられた。 (4) 本プログラムに対しての歯科医師会会員、歯科衛生士、地域の保健担当者への周知と理解を進めると共に、地域での住民を対象とした地域と診療所をつなげた保健指導の必要性について啓発することが必要であると考えられた。</p>